

里山倶楽部自然農場日記3月号 NO86

アメリカの穀物は武器である

「食料はアメリカが持つ外交上の強力な手段です。とりわけ食料を自給できない日本には有効です。日本に脅威を与えたいなら、穀物の輸出を止めればいいのです。」

このような日本の弱点を露骨に述べているのは、1970年代アメリカ合衆国の18代農務長官アール・バッツです。あれから40年も経っているのにバッツの言っている状況は全く変わっていません。確かに食料自給率については長い間現在に至るまで議論されてきました。でも現実は一向にこの問題を解決する糸口は見えてきません。本当に日本人は問題先送りのぬるま湯が好きなようです。40年経っても何もなかったのだから、まだまだアメリカの庇護のもと太平な世の中が続くと考えなのか、それともアメリカの国力もかげりが見えてきて、今までのようにはいかないと考えるのか。

危機管理という言葉があります。最悪の事態を想定して事前に対処していくという意味ですが、まさに現代はそんな状況下にあるのではないのでしょうか。金利がマイナスになる時代なのです。お金を借りたら金利がもらえるのですよ。そんな社会ってあります？でもあるんです。この日本に。資本主義社会はここまできたのです。

私が以前から何回も言ってきましたが、自分の身、自分の家族は自分で守る。国やお上には頼らない。生きて行くうえで一番大事な食は自分で作る。日本がTPPの枠に取り込まれたら安全な「食」の保証はありません。方法は二つ。一つは自分で作る。もう一つは信頼できる農家と知り合いになるです。でも土が嫌いでないなら自分で作る努力をしましょう。他人に頼らないで。一坪菜園でも、里山の田畑でも、半農半Xでも、農家でも、先は何でもいいのです。また作物を作らなくてもクワを持った経験だけでも財産になります。

急に「さつまいもを作れ」と言われたって作れるものではありません。作物を作るには技術が必要なのです。その技術を習得してもらう一助になればと今年も「スモールファーム自給塾」を開校することにしました。この塾に参加することにより少しでも土に親しんでもらい、そして心の安心を得るという保険をかけてください。

お客様の声

いつもありがとうございます。干し柿あまくておいしかったです。

(H様)

レンコンすりおろして、ひき肉、トーフをまぜて団子にして鍋物に入れたら、とってもおいしかったです。ありがとうございます！

(K 様)

お野菜期待通り新鮮でしたが、白菜の中に虫がはいっていました。私は虫が苦手です。無農薬野菜なので覚悟はしてましたが……。申し訳ありませんが次回より野菜セットキャンセルをお願いします。

(初めて野菜セットご利用いただいた H 様)

たまちゃんのつばやき

出荷準備する持尾の梅は日当たりが良いためか白梅がきれいに咲きました。顔を近づけると良い香り。「初名草」とも言われるらしく、春を待ちながら最初に咲く花だからそんな風によばれるそうです。すこしずつ春がきているのでしょうか。でも持尾の洗い場は今日は氷がはっていましたが……。

(2月18日)